千葉県八千代市

笹　塚　塚　群（1号塚）

－宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－

令和４年度

株式会社　中央住宅
八千代市教育委員会

例　　言

1　本書は，八千代市教育委員会が令和４年度民間開発等埋蔵文化財発掘調査事業として実施した埋蔵文化財発掘調査の報告書である。報告書作成作業は，令和４年度事業として行った。

2　本書に収録した発掘調査は宅地造成に伴うもので，事業者である株式会社中央住宅の委託を受けて実施した。

3　遺跡名は，笹塚塚群，所在地は八千代市大和田766-1ほかである。

4　調査及び整理は，以下のとおり実施した。

　本調査　期間　令和４年10月４日～令和４年10月31日　塚１基　面積780㎡

　本整理　期間　令和４年11月１日～令和５年３月31日

5　参考文献は第Ⅲ章末にある。

6　写真・図版等の調査資料は，八千代市教育委員会が保管している。

7　本書の図版作成は，伊藤衣莉加が行い，編集・執筆は宮澤久史が担当した。

八千代市の位置

笹塚塚群の位置

目　　次

Ⅰ　調査経過及び概要……1
　①　調査に至る経緯……1
　②　調査の概要……1
　③　笹塚塚群の概要……1
Ⅱ　検出された遺構と遺物……3
Ⅲ　成果と課題……4
写真図版

挿　図　目　次

図１　　笹塚塚群（１号塚）位置図……2
図２　　笹塚塚群１号塚平面図……3
図３　　笹塚塚群１号塚土層断面図等……5

図　版　目　次

図版１　調査前現況
図版２　土層断面
図版３　完掘状況及び調査風景

Ⅰ　調査経過及び概要

①調査に至る経緯

令和３年12月16日付，事業者である株式会社中央住宅代表取締役品川典久から八千代市大和田新田の宅地造成に係る「埋蔵文化財の取扱いについて（確認）」の依頼が提出された。確認地は，周知の遺跡である笹塚塚群の範囲内であり，現況は山林であった。遺物の散布は確認できなかったが，笹塚塚群の一部が所在していることが確認できた。このため，八千代市教育委員会（以下「市教委」という。）は周知の埋蔵文化財包蔵地であることから，「文化財保護法（以下「法」という。）第93条に基づく届出が必要であること」と，「その取扱いについて協議したい」旨をそれぞれ回答し，合計780㎡について取扱いに係る協議を行った。同年12月16日付けで株式会社中央住宅から土木工事の届出が提出され，市教委は令和４年10月４日に本調査を実施した。

本調査　協議範囲780㎡について，本調査実施に向けて協議を重ねた。市教委は令和４年９月１日付で調査の見積もりを事業者に提示し，事業者からも同年９月12日付で八千代市長（以下「市」という。）に調査依頼書が提出された。市は９月12日付でこれを受託し，９月15日付で市・事業者の両者間で埋蔵文化財発掘調査の委託契約を締結し，10月４日に市教委が本調査を開始した。

②調査の経過

本調査は塚１基780㎡を対象として行われた。樹木伐採･現況地形測量を行った後，発掘調査を開始した。掘削作業は重機による掘削を行い，適宜写真撮影と図面作成，トータルステーションによって記録をとりながら完掘を目指した。

調査経過は10月４日機材搬入，環境整理，調査前状況写真撮影。４日～６日地形測量。５日～31日調査，31日機材撤収で調査を終了した。

③笹塚塚群の概要

遺跡の立地　笹塚塚群は市域西部に所在する。桑納川を北に臨む台地上で，標高約29mに立地する。北側を花輪谷津に，南側を津金谷津によって区切られた舌状台地の基部に位置する。（註１）

これまでの調査　笹塚塚群は平成27年に調査が行われ，平成28年に報告書「千葉県八千代市市内遺跡発掘調査報告書　平成28年度」が刊行されている（ａ地点）。この際の調査では遺構は検出されなかったが，縄文土器片が検出されている。本調査例を１号塚としたが，他に現状で視認できる塚は確認できていない。

周辺の遺跡　本塚群の北方には尾崎群集塚が展開している。本塚群の西方，花輪谷津に面した台地縁辺部に大和田新田芝山遺跡が展開している。（財）千葉県文化財センターによって縄文時代の陥穴が多数調査されている。本塚群北方の台地中央部から先端部にかけては平作遺跡が展開し，縄文時代中期の竪穴住居を検出している。北東方向には調査例はまだないが，吉橋芝山遺跡が展開している。また，南側の津金谷津を超えた台地には長兵衛野南遺跡が所在し縄文時代中期の竪穴住居を調査している。北側の花輪谷津を超えた台地には内野遺跡が展開している。

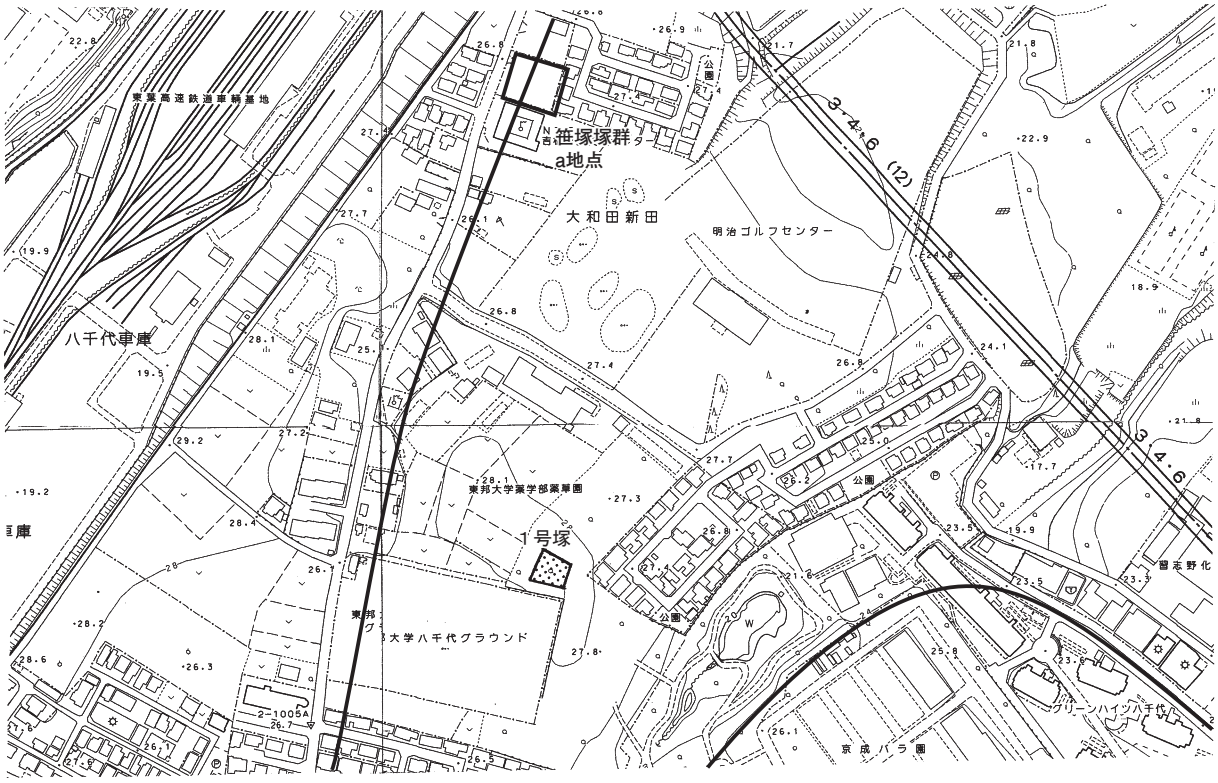


図1　笹塚塚群（1号塚）位置図

Ⅱ　検出された遺構と遺物

図２　笹塚塚群１号塚平面図

形態・規模　調査前の現況では樹木が密集していて形状が判りにくかったが，樹木伐採後の状況から方形の塚である事が明らかになった。また，塚に上るためのコンクリートブロックによる簡易な階段も検出された。塚の測量結果，18m×18m，高さ3.6mの方形の塚であった。墳頂部は4m×4mの方形の平場が作られていた。周溝・主体部等は検出されなかった。

土層観察状況等　暗褐色土とロームを主体とした黄褐色土を主体とし，相互に積み重ね塚を形成していたことが明らかになった。塚封土最下層には白色粘土が張られていた。塚を形成する際に整地をするためと考えられる。

付属施設等　主体部・周溝等の付属施設は検出されなかったが，白色粘土上面にうっすらとした焼土を検出した。何らかの儀礼によるものなのか，塚構築時の作業中の焚火等によるものなのかは判然としなかった。

遺物　遺物は出土しなかった。

Ⅲ　成果と課題

調査の結果，18m×18m，高さ3.6mの方形の塚であった。市内の類似例としては村上供養塚などが挙げられる。遺物が出土しなかったため明確な時期特定はできなかったが，市内の他の類例，覆土の観察等から近世の塚と判断される。用途についても出土遺物が無いため，不明と言わざるを得ない。

塚の土層断面から特徴的な構築方法を知ることができた。まづ，塚最下層を整地し白色粘土を貼って整地面を作る。その後，暗褐色土を主体とした層（b）とロームを主体とした層（a）を交互に積み重ね塚を積み上げてゆく。ある程度の規模の塚が形成された時点で，いったん積み上げをやめ，形成された塚を軸にして，さらに暗褐色土系の土で高さ，規模を拡大して現状の塚を構築したようである。

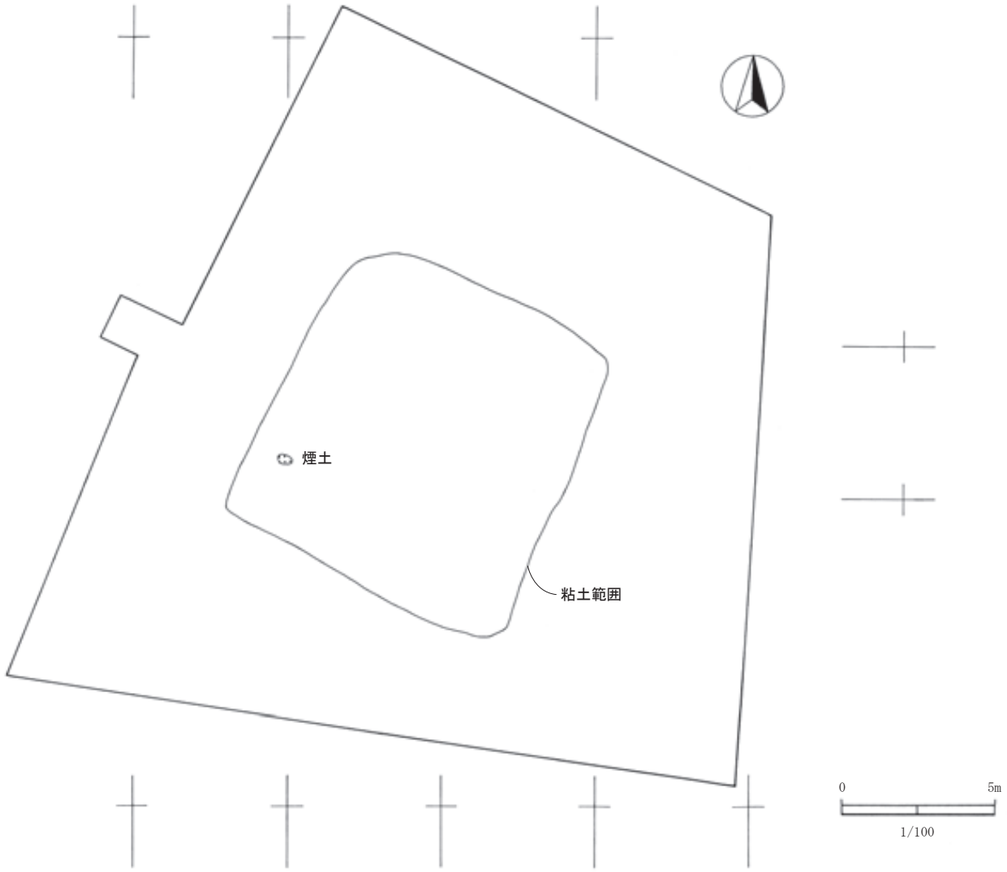
市内には多数，塚が所在し，45基を数える。（註２）今回の調査では出土遺物，附属する遺構の検出が無かったため，不明な点が多かったが，今後，塚の調査例を蓄積し，さらなる考察ができるようにしたい。

註１　本書で呼称している谷津名等は，八千代市教育委員会『千葉県八千代市　殿内遺跡ｂ地点』(2009)に依っている。

註２　八千代市教育委員会『千葉県八千代市　木戸前塚』(2011）による。

参考文献

財団法人千葉県文化財センター『八千代市仲ノ台遺跡・芝山遺跡』(1989)
八千代市遺跡調査会『千葉県八千代市　長兵衛野南遺跡発掘調査報告書』(2000)
八千代市教育委員会『千葉県八千代市　市内遺跡発掘調査報告書　平成26年度』(2015)
八千代市教育委員会『千葉県八千代市　市内遺跡発掘調査報告書　平成28年度』(2017)
八千代市教育委員会『千葉県八千代市　村上供養塚発掘調査報告書』(1974)



笹塚塚群　土層説明

			しまり	粘性
1	暗褐色土層	暗褐色土を主体にしながらも多量の黒色土が混ざる層。表層。	なし	なし
2	暗褐色土層	暗褐色土を主体とし少量の黒色土が混ざる層。	よわい	なし
3	黄褐色土層	ロームを主体に微量の暗褐色土が混ざる層。	普通	ややあり
4	暗褐色土層	暗褐色土を主体に少量の黒色土が混ざる。少量のロームが斑状に混ざる。	普通	ややあり
5	暗褐色土層	暗褐色土を主体にしながらも多量の黒色土が混ざる。	普通	ややあり
6	暗褐色土層	暗褐色土を主体に少量の黒色土が混ざる。	普通	ややあり
7	暗褐色土層	暗褐色土を主体に微量の黒色土が混ざり、少量のロームが斑状に混ざる。	普通	ややあり
8	灰褐色土層	白色粘土に微量のローム。微量の暗褐色土が混ざる層。	つよい	ややあり
9	暗褐色土層	暗褐色土を主体に少量の黒色土が混ざる層。	普通	ややあり
10	暗褐色土層	暗褐色土を主体に少量の黒色土が混ざる層。	つよい	よわい
11	暗褐色土層	暗褐色土を主体に少量の黒色土で少量のロームが混ざる層。	つよい	よわい
12	暗黄褐色土層	暗褐色土を主体にしながらも、多量のロームが粗く混ざる層。少量の黒色土も含む。	つよい	なし
13	暗褐色土層	暗褐色土を主体に少量の黒色土と少量のロームが混ざる層。	つよい	よわい
14	暗褐色土層	暗褐色土を主体に少量の黒色土が混ざる層。	つよい	よわい
15	暗黄褐色土層	暗褐色土を主体にしながらも、多量のロームが粗く混ざる層。	つよい	なし
16	暗褐色土層	暗褐色土を主体にしながらも多量の黒色土が混ざる層。	つよい	よわい
17	ソフトローム漸移層			
18	暗褐色土層	暗褐色土を主体に少量のロームと微量の黒色土が混ざる層。	普通	よわい
19	暗褐色土層	暗褐色土を主体に少量のロームが粗く混ざり、少量の黒色土も混ざる。	普通	よわい
20	暗褐色土層	暗褐色土を主体に少量のロームと少量の黒色土が混ざる。	普通	よわい
21	暗褐色土層	暗褐色土を主体に少量の黒色土が混ざる層。	普通	よわい
22	暗褐色土層	暗褐色土を主体に少量のロームと微量の黒色土が混ざる層。	普通	よわい
23	暗褐色土層	暗褐色土を主体に少量の黒色土と微量のロームが混ざる層。	普通	よわい
a	暗黄褐色土層	暗褐色土を主体に多量のロームが粗く混ざる層。	つよい	なし
b	暗褐色土層	暗褐色土を主体に多量の黒色土が混ざる層。	つよい	よわい
b-2	暗褐色土層	暗褐色土を主体にしながらも多量のロームが混ざる層。	普通	よわい
b-3	暗褐色土層	暗褐色土を主体にしながらも多量のロームと少量のロームが混ざる層。	普通	よわい

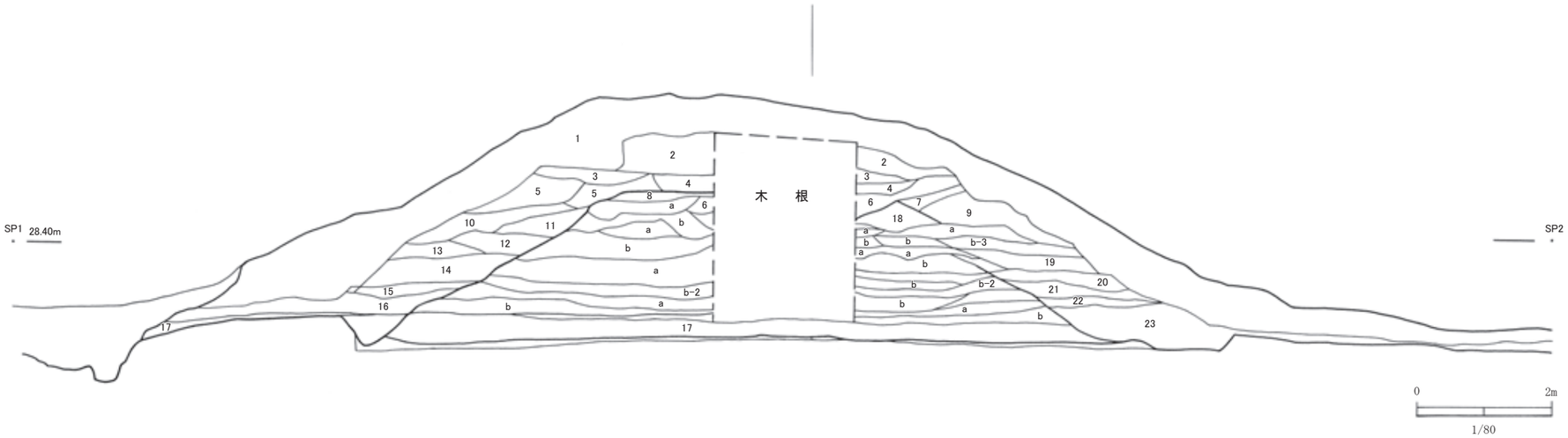


図３　笹塚塚群土層断面図等

調査前現況

調査前現況

図版２

土層断面

土層断面

完掘状況

調査風景

調査風景

調査風景

調査風景

調査風景

調査風景

報　告　書　抄　録

ふ り が な	ちばけんやちよし　ささづかつかぐん（いちごうつか）
書　　名	千葉県八千代市　笹塚塚群
編 集 者 名	宮澤　久史
編 集 機 関	八千代市教育委員会
所　在　地	〒276-0045　千葉県八千代市大和田138番地2　℡047(483)1151
発行年月日	令和５年３月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所　在　地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
笹塚塚群	大和田新田766-1	12221	161	35度 73分 29秒	140度 08分 51秒	20221004 ～ 20220331	780	宅地造成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
笹塚塚群	塚	中・近世	塚１基	なし	
要　　約	中～近世　塚１基。18m×18mの方形塚。高さ3.6m。				

千葉県八千代市　笹　塚　塚　群（１号塚）

―宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―

発　行　日　　令和５年３月 31 日

編　　集　　八千代市教育委員会　文化・スポーツ課
〒 276-0045　八千代市大和田 138-2
TEL 047-481-0304

発　　行　　株式会社　中央住宅

印　　刷　　金子印刷企画
千葉県八千代市萱田 410-1